



公益社団法人Knots ノツ・結び目  
WEBサイト <http://knots.or.jp>

公益社団法人Knots(結び目)は、「人と(ヒト以外の)動物の幸せな共生」をテーマに主に社会教育事業を行なっています。Knotsが日頃お世話になつております素敵な皆さまから、メッセージを頂くシリーズです。

お話を：村田香織先生 もみの木動物病院 獣医師

<http://www.mominoki-world.net/news/>



イヌと比較してネコは散歩の必要がなく留守番も比較的問題なくできる上、大きな声で吠えないことなどが、現代人のライフスタイルや住環境に合っている。ただし、行動学的側面を見ると猫が十

分その環境に適応しているとはいがたい。  
猫は犬に比較して家畜化の歴史も浅く、飼育目的に合わせた人為的選択もほとんど行われていない。言い換え

## 人と(ヒト以外の)動物の幸せな共生



1室で生活するように

すれば野性味の強い動物である上、つい最近まで屋外と家を自由に行き来して猫本来の行動パターンをとることが許された動物でもある。

すなわちマンションの

進化した動物ではない。野性味あふれるネコという動物が人間社会で飼い主の家族の一員として幸せに暮らしていくためには、発達期の教育がカギとなる。

かつての猫は室内と

屋外を自由に行き来す

る中で、さまざま

刺激に遭遇し、飼い

主が意図せずとも

多くのことを学習す

る機会に恵まれて

いた。

ただし、現在の日本

で交通事故や伝染病、猫同士の抗争などの危険性なく飼

うことは、室内飼育す

る際の環境整備や遊び

の移動に慣らす方法、日

常のケアなどについてで

猫を飼う上で知つてほしいこと～こねこ塾～

達を妨げ、過剰なグルーミング、飼い主への攻撃行動、同居動物とのけんか、運動不足による肥満などさまざま問題の原因となる。

当院では定期的に子猫と飼い主と一緒に参

加する「こねこ塾」を行つ

ているが、そこで伝えて

いるのは、室内飼育す

る際の環境整備や遊び

の移動に慣らす方法、日

常のケアなどについてで



い猫を外出させること

ができる地域はほとん

どない。

猫は室内飼育が望ま

しいと言えるが、反面

多くの猫たちは刺激不

足・経験不足に陥つて

いる。刺激不足の生活

は猫の正常な行動の發

ある。